

サンホープ かん水コントローラー発売 展示会でPR、講演も

【サンホープ】東京 都目黒区中目黒1-1-71・KN代官山ビル・503(3710) ナーを10日12時40分〜5075・益満ひろみ社長は、次世代農業EX POに出展する。

【小間書・271】さらに、砂漠の農業大園イスラエルに学ぶハイテク農業の自動化・省力化が日本の農業を変える〜と題した特別講演講演・益満社長を11日の10時30分からセミナー会場で行う。

また、同社小間では、

紹介する。G.S.1は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末で利用できる専用アプリを使用することでインターネットからかん水プログラムの遠隔操作や監視ができるかん水コントローラーである。AC100V電源を使用し、電磁弁とケーブ



ルで接続することで24系統を1台で管理できる。最大同時出力系統数は4系統でマスターバルブ出力も行う。散水プログラムの作成が簡単なのも長所。言うなればシンプルさが最大の特長となる。初期設定はパソコンで行う必要があるものの、きめ細かいプログラム設定やセンサーとの接続で水の使用履歴などデータ収集を行う。雨センサーに接続は防水対応しているものの、雨やスプリンクラーの、雨やスプリンクラーからの水が直接かかる場所や湿度の高いところで使用は推奨しないとのこと。希望小売価格(税

別)は、39万円。

また、過剰給水や給

水不足等の異常が発生するとEメールで通知。即時に対応できるのも安心だ。

クラウド接続するための本体価格以外に、exiteモバイルの音通話機能付SIMカードが必要となる。契約の初期費用は3000円で、月々1200円程度の通信量がかかるとしている。

動作環境はマイナス10度〜60度まで対応。本体は防水対応しているものの、雨やスプリンクラーからの水が直接かかる場所や湿度の高いところで使用は推奨しないとのこと。希望小売価格(税

別)は、39万円。

また、過剰給水や給

水不足等の異常が発生するとEメールで通知。即時に対応できるのも安心だ。

クラウド接続するための本体価格以外に、exiteモバイルの音通話機能付SIMカードが必要となる。契約の初期費用は3000円で、月々1200円程度の通信量がかかるとしている。

動作環境はマイナス10度〜60度まで対応。本体は防水対応しているものの、雨やスプリンクラーからの水が直接かかる場所や湿度の高いところで使用は推奨しないとのこと。希望小売価格(税

別)は、39万円。